

看護部だより

新年度のご挨拶



藤澤 千栄美看護部長

いきなりですが「2025年問題」、皆さん聞いたことがあると思います。10年前の流行語大賞にノミネートされた経緯もあります。研修などでも、さかんに2025年問題と講師が言っており、さぞかし大変な事が起こるのだ“どうなる日本の医療！”と危惧したものでした。小学校の頃の1999年の7月に恐怖の大王が降りてきて地球が滅亡するという「ノスタルダムスの大予言」並みに心配していました。しかし、今2025年になり、昨年と何か変わったかということ、あまり変わっていないような・・・そして「2025年問題」と口にする人もいなくなり、あの時と同じだと感じているのは私だけでしょうか？今は、「2040年問題」に、いつの間にか変わっていました。問題はいつの世も続くのだと・・・私達、看護師は問題解決思考が染みついています。そもそも看護計画が、問題を探し出し、計画・実行・評価ですものね。病棟の目標も、問題となっている事を改善すべく、今年の間取り組む計画を立てていると思います。問題解決思考はとっても大切だと思っています。でなければ乗り越えられないこともあるから。でも問題だけではなく、こうありたいと夢を追いかけてたい。ビジョンがもっと大切と思う2025年度、初頭でした。



櫛田恵津子副看護部長

4月1日には、新しく48名の仲間を迎えることができました。とても嬉しく思います。木の芽が大きく育っていくように、一人ひとりが成長してくれるものと思います。そのために必要なサポート体制は十分にしていきたいと考えています。当院の魅力は、恵まれた教育環境と豊かな自然です。入職者だけでなく先輩看護師の皆さんも「心豊かな看護師になる」を合言葉に成長していけたら素晴らしい看護部になるでしょう。一緒に頑張っていきましょう。



成田いづみ副看護部長 就任のご挨拶

4月1日付で副看護部長を拝命いたしました。看護部のみなさん一人ひとりが、いきいきと充実した気持ちで看護ができるように、役割を果たしていきたいと思っています。また、2025年は国際医療福祉大学大田原CP開学30周年の節目の年となります。大学および関連施設との連携が実際の現場で感じられるよう、働きかけていきます。よりよい職場環境をみなさんと共に考え作っていきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。



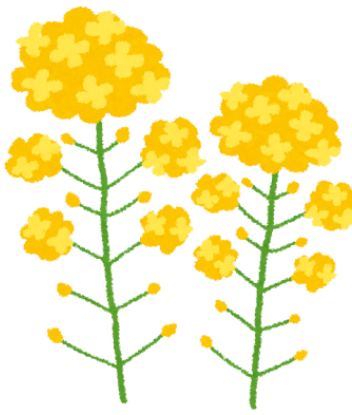
新人看護師集合研修

4月2日～4月11日にかけて新人看護師の集合研修が行われました。

オリエンテーション 1



集中して講義を受け、
今後の活躍に向けて
多くの事を学ばれています。



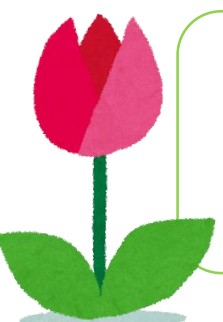
オリエンテーション 2



血圧測定



血圧測定を行っています。
講師の先輩の丁寧な説明を聞き、
一人一人積極的に取り組んでいます。



振り返り



輸液ポンプの使い方



一つ一つ確認することで、
患者さんにとって安全で安心できる
技術を学びました。

患者さんへの説明



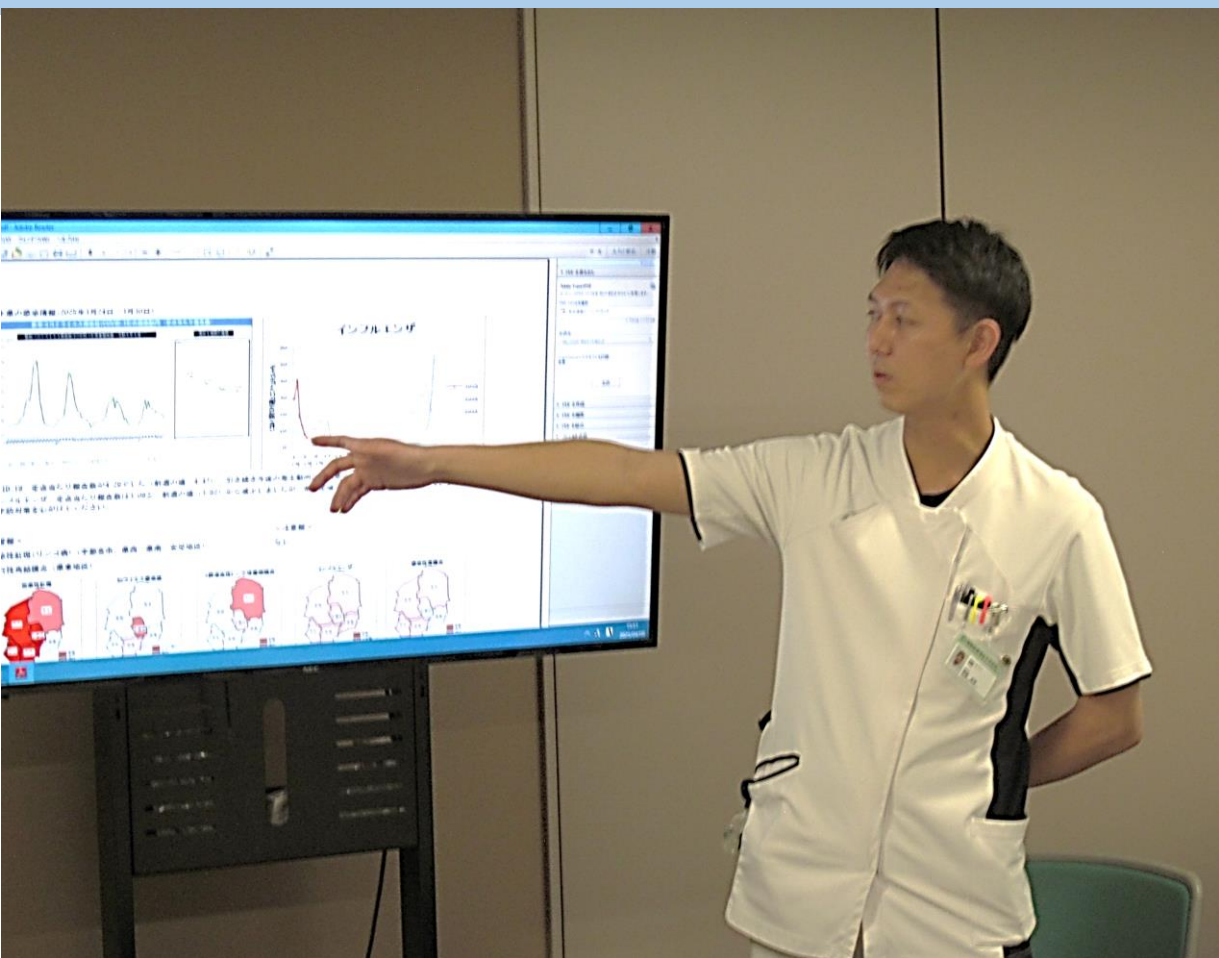
集合写真



集合研修で多くの事を学び、たくさんの意見交換ができました。
お互いに成長し支え合える仲間と共に、よりよい看護を提供して
いきましょう。

スペシャリスト3名の活動紹介

感染管理認定看護師 吉成副主任



当院で看護師として活躍後、進学をして2024年度からスペシャリストになりました。

私の今の活動は、感染の見える化です。感染症流行の見える化、対応方法の見える化、感染対策の見える化など、院内感染対策マニュアルや感染対策掲示板を通して、感染の見える化に取り組んでいます。その他に、地域の病院や診療所と連携を図り、地域の感染対応力の向上にも取り組んでいます。院内には私の知らない、気付いていない感染に関する困りごとが、まだまだたくさんあると思います。皆さんと一緒に、その困りごとの改善に取り組んでいきたいと考えていますので、いつでもご連絡ください。

診療看護師とは、医師の指示のもとで一定の診療行為を提供することのできる看護師です。外来や手術などで医師が不在の状況において、病棟患者の管理や退院調整などの業務を行っています。日々医師と患者の病状や治療方針に関して共有しているので、多職種チームにおいては相談役・調整役を担うことができます。患者様のことについて何か相談事などがあればお力になれると思いますのでご連絡ください。

がん看護専門看護師 野尻さん



診療看護師 佐野さん



現在は病棟を中心に、がん患者の緩和ケアや抗がん剤治療中の患者の療養支援の質の向上に取り組んでおります。特に血液内科では、治療中に感染を起こさないために、感染予防の取り組みを強化しています。病棟内だけでなく、他病棟の方でも痛みや呼吸困難に関する緩和ケアや抗がん剤治療など、がん看護に関するご相談いただければ、お力になれることもあるかと思いますのでご連絡ください。

4月1日より48名の新しい仲間が増えました。2024年度から3名のスペシャリストも活躍しています。今後も当院を必要とされる多くの患者様によりよい看護を提供して参ります。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。看護部：森本、管野



編集後記

